



TITLE:

經濟心理學ノ組織的研究(二)

AUTHOR(S):

米田, 庄太郎

CITATION:

米田, 庄太郎. 經濟心理學ノ組織的研究(二). 經濟論叢 1917, 4(2): 190-202

ISSUE DATE:

1917-02-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127162>

RIGHT:

京都帝國大學法學大科大學

經濟論叢

第二號

第四卷

大正六年二月一日發行

論說

『經濟學者ノ第一思想』ヲ讀ム……………

法學博士

河上肇

官業問題ニ就キテ……………

法學博士

神戸正雄

體質廢頽問題……………

法學博士

財部靜治

經濟心理學ノ組織的研究……………

……………

米田庄太郎

消費ニ關スル學說ノ發達……………

……………

瀧本誠一

時事問題

減債基金論……………

法學博士

小川郷太郎

日支經濟關係ノ真相……………

法學博士

戸田海市

關西商業會議所聯合經濟調查會事業概況……………

法學博士

神戸正雄

雜錄

經濟雜話(八)……………

法學博士

田島錦治

中世ニ於ケル賣買ノ擔保……………

文學博士

三浦周行

不換紙幣ノ價格ニ付テ河上博士ニ答フ……………

法學博士

戸田海市

米ノ卸賣價格ト小賣價格……………

法學士

河田嗣郎

植民國トシテノ丁抹ノ末路……………

……………

山本美越乃

經濟心理學ノ組織的研究(二)

米田庄太郎

(五)

たゞる先生ノ信欲説 *La théorie de la croyance et du desir* は、先生ノ哲學心理學及ヒ社會學ニ於テ甚ダ重要ナル地位ヲ占ムルモノニシテ、之ヲ論述スル論文ハ先生ガ最トモ早ク發表サレタ哲學上ノ論文デアル⁽¹⁾。而シテ其後公ニサレタ幾多ノ著作及ビ論文ニ於テ、先生ハ其ノ説ヲ益々精練サレタガ、茲ニハ其ノ最トモ圓熟セル思想ヲ簡單ニ述ベテ置ク。

今吾人ノ心理生活ヲ深ク詳シク分析シテ見ルト、吾人ハ結局其ハ純質的ナ一定ノ要素ト純量⁽²⁾のナ一定ノ要素トカラ成立スルモノナルヲ發見スル。純質的ナル要素トハ即チ純感覺ニシテ、而シテ純質的ナル要素トハ即チ信ト欲トノ二種ノ力デアル。要スルニ純質的ナル純感覺ノ上ニ純量⁽²⁾のナル信ト欲トノ二種ノ力ガ夫レ夫レ單獨ニ又ハ相結合シテ働クコトニヨリテ茲ニ一切ノ心理現象ガ發見スルノデアル⁽²⁾。而シテ吾人ハ此ノ理ヨリ推シテ考フレバ、最トモ適當ニ宇宙ヲ精神化シテ外界現象ノ真相ヲ理解スルコトガ出來ルト思フ。

現代科學ノ發達ノ趨勢ヲ考察スルト其處ニ先ヅ注目セラル、二ケノ著シキ傾向ガ見ユル。一ハ宇宙ヲ粉碎シテ之ヲ無限無數ノ極微ニ還元セントスル傾向即チ宇宙ノ本體ヲ無限無數ノもなご *mon-*

(1) *La croyance et le desir*. Revue Philosophique. 1880.

後先生ノ論文集 *Essais et mélanges sociologiques*. 1895. ノ中ニ收メラレテ居ル

(2) *La logique sociale*. 2. Ed. 1898. P. 2-13.

ratesト見ントスル傾向ニシテ、一ハ宇宙ヲ精神化セントスル傾向デアル。ツマリらいふにつつノ唱ヘタル形而上學のナもなごろじーが現代ノ科學界ニ於テ科學的ニ確立サレツ、アルノデアル。而シテ第一ノ傾向ニ於テハ現代科學ハ愈々成功シテ居ルガ、併シ第二ノ傾向ニ於テハ其論證甚ダ薄弱デアル。即チ宇宙ヲ精神化セントスルニ於テ其論證、根本的ニ矛盾シテ居ツテ、徹底シテ居ラナイ。何故デアルカト云フニ、是レ宇宙ヲ精神化スル方法ヲ根本的ニ誤解シテ居ルカラデアル。全體宇宙ヲ精神化スルト云フハ、ツマリ物質ヲ精神ニ還元スルコトデアルガ、現今ノ科學者ハ之ヲ企ツルニ當テ、根本的ニ物質ノ本質ハ運動デアルニ對シテ、精神ノ本質ハ感覺デアルト觀念シ、而シテ運動ヲ感覺ニ還元スルコトニヨリテ其ノ目的ヲ達セントシテ居ル。併シ是ハ根本的ニ謬見デアル。ト云フノハ運動ハ本來量的ノモノデアルニ對シテ、感覺ハ本來質的ノモノデアルカラ量的ノモノヲ質的ノモノニ還元セントスルハ到底不可能デアルガ爲メデアル。而シテ物質ノ本質ハ運動デアルコトハ疑ハレナイ事實ト思フカラ、今適當ニ之ヲ精神ニ還元セントスルニ當テハ、吾人ハ精神ニ於テモ其ノ本質トシテ物質ノ本質タル運動ト同様ニ本來量的ナル或物ヲ求メネバナラス。然ラハ精神ノ本質トシテ如何ナル量的ナモノガ發見サレルカト云フニ、是レハ信ト欲トノ二種ノ力ニ外ナラス。信ト欲トヲ除イテハ、サキニ述ベシ處ニヨリテ知ラル、如ク、精神ニ於テ量的ナ本質ト認ム可キモノハナイ。此クテ吾人ハ正當ニ物質ヲ精神ニ還元セントスルニハ、運動ヲ信ト欲トニ還元スルコトヲ企タテネバナラス。而シテ吾人之ヲ生物界ノ運動ニ就テ試ミルモ、更ニ之ヲ物理界ノ運動ニ就テ試ミルモ、結局運動ハ悉ク信ト欲トノ力ノ作用ニ還元シ得ラ

ル、コトヲ發見スルノデアル。要スルニ吾人ハ心理生活ヲ分析シテ、一切ノ心理的現象ハ結局純質的ナル感覺ノ上ニ信ト欲トノ力ガ働クコトニヨリテ發現スルモノト考ヘ得ル如ク、一切ノ外界ノ現象モヤハリ信ト欲トノ力ガ、感覺トハ異ナルガ而モ諸種ノ感覺間ニ於テ存在スル差異ヨリモ以上ニ感覺トハ異ナラナイ純質的ナル或物ノ上ニ働クコトニヨリテ發現スルモノト考フルコトガ出來ル。此クテ吾人ハ物質ヲ適當ニ精神化スルト同時ニ、信ト欲トノ二種ノ力ガ宇宙人生ノ根本的原動力デアルコトヲ理解スルノデアル。但シ此等二種ノ力ニ就テ、信ヲ欲ニ還元セントスルモ、亦欲ヲ信ニ還元セントスルモ共ニ穩當デナイ。兩者ハ相互ニ何レニモ還元シ得ラレナイ二種ノ力デアル。而モ欲ハ常ニ信ヲ伴ナイ、而シテ信ヲ目的トスルモノデアルト云フ事實ニ於テ、兩者ノ統一ガ保タレルノデアル。⁽¹⁾

たゞるゝ先生ハ以上述べシガ如キ意味ニ於テ信ト欲トヲ宇宙人生ノ根本勢力ト觀念セラル、ノデアルガ、先生ノ社會學ニ於テ特ニ重要ナルハ、先生ガ其基礎トシテ立説セラルル心理學上ノ信欲説デアル。ソレデ茲ニ尙ホ少シク先生ノ心理學上ノ信欲説ノ大要ヲ述ブルコトトスル。

今たゞるゝ先生ノ心理學上ノ根本學説トシテノ信欲説ニ於テ、先生ガ最トモ力ヲ盡クシテ論證セント勉メラレタルハ左ノ五ケノ命題デアル。

(1) 一切ノ心理的現象ノ根底ニ於テ、吾人ハ三ケノ不可還元の要素アルヲ見ル。夫レハ信ト欲ト彼等ノ適用點タル純感覺トデアル。但シ純感覺ト云フハ現實ナル感覺ヨリ信ト欲トノ作用ヲ捨象シテ、抽象的ニ見タル假設的ナ純質的ナ感覺ヲ意味スルノデアル。

(1) Monadologie et Sociologie. Revue Internationale de Sociologie, 1893.

論文集 Essais et mélanges sociologiques ノ中ニ收メラレテ居ル

(2) 信ト欲トハ主觀ノ內有的及ヒ構成的形式或ハカニシテ、ツマリ主觀ガ感覺ノ粗製原料ヲ受ケ容レ之ヲ精製スル型デアル。

(3) 純感覺ノ原本的ニシテ不可還元ナル要素ヲ除イテ見レバ、一切ノ心理現象、隨フテ又一切ノ社會現象ハツマリ信ト欲トニ還元サレルノデアル。

(4) 信ト欲トハ増減シ又正負ニ轉向スル眞實ナル量ニシテ、假令實際的デハナクトモ少クモ本質的ニハ、其ノ箇人の表現ニ於テ更ニ一層容易ク其ノ社會の表現ニ於テ、測定シ得ラル可キモノデアル。信ト欲トハ壹ニ同一箇人ノ種々ナル心理狀態ニ於テ本來同一不變デアルノミナラズ、更ニ何レノ箇人ニ於テモ本來同一不變ニシテ而シテ其ノ結果トシテ種々ナル間接的方法ニヨリテ、例ヘバ箇人ニ於テハ精神物理學的方法ニヨリテ、又箇人ト箇人トノ間ニ於テハ統計的方法ニヨリテ正當ニ合計シ得ラルルモノデアル。

(5) 欲ハ常ニ信ヲ目的トシ、信ヨリ離レテハ發動スルコトハ出來ナイガ、併シ信ハ欲ヨリ離シテモ考ヘラレルノデアル。⁽¹⁾

たゞるゝ先生ガ右ノ五命題ヲ論證センカ爲メニ論述サレタ事ノ詳細ハ、茲ニ之ヲ説述スル暇ハナイデ、特ニ先生ノ社會學上重要ト思ハルモノニ就テ少シク述フルニ止メルガ、先ヅ第一ニ先生ノ信及ビ欲ト稱セラルルモノハ何物デアルカヲ考究スルコトガ必要デアル。然ルニ此問題ニ就テ先生ノ論述サレシ事ハ甚ダ漠然トシテ居ル。先生ハ信及ヒ欲ヲ精確ニ定義スルコトハ是レマテ之ヲ試ミタ人々ノ總テ失敗シテ居ルコトニヨリテモ察セラレル如ク、殆ンド不可能デアルト考

(1) Essais et mélanges sociologiques. pp. 240-241.

Logique sociale. p-p. 1-2.

參考 Matagrín, La psychologie Sociale de Gabriel Tarde, 1910. p.p. 68-69.

へ、只左ノ如クニ比喩的ニ之ヲ説明スルニ止メテ居ル。

余ノ慾ト稱スルハ精神の傾向ノ力、心的食欲ノ力ニシテ、余ノ信ト稱スルハ知的電撃ノ力、心的附着及ビ壓縮ノ力デアアル。

L'énergie de tendance psychique, d'avidité mentale, que j'appelle le désir — L'énergie de "saisissement" intellectuel, d'adhésion et de constriction mentale, que j'appelle la croyance.

要スルニ先生ノ信ト云フハ何等カノ觀念ニ精神ノ附着或ハ粘着スルコトヲ意味シ、又慾ト云

フハすびのさノ根本傾向或ハ根本情ト稱スルモノカ更ニらいぶにつつノ慾ト稱スルモノニ一

層ヨク類スルモノデアルト思ハレル⁽⁴⁾。而シテ先生ハ信及ビ欲ノ概念ヲ只右ノ如ク漠然比喩的ニ決

定スルダケニ止メ、夫レヨリ一切ノ心理現象カ純感覺ヲ除クバ悉ク信ト慾トニ還元サレルモノナ

ルコト、及ビ信ト慾トハ本來量のナルモノ、即チ眞實ナル心理的量ニシテ少クモ本質上測定シ計

算シ得ラルルモノデアルコトヲ論證スル爲メニ、専ラ力ヲ盡クサレタノデアアル。然ルニ先生ハ一

切ノ社會現象ハ本質的ニ心理的ノモノデアルト考ヘラレルノデアラカラ、社會現象モツマリ信ト

慾トニ還元サレルコトニナル。蓋シ一切ノ社會現象ハ根本的ニハ摸倣ニヨリテ發明ガ心ヨリ心ヘ

傳ハルコトニヨリテ成立スルモノデアアルカ、然ルニ純感覺ハ本來質的ニシテ主觀的ナ要素デアツ

テ心ヨリ心ヘ傳ハルコトカ出來ズ、心ヨリ心ヘ傳ハリ得ルモノハ、只本來量のナ信ト慾トノ二要

素デアアルカラデアアル。先生ハ此點ニ就テ「摸倣ノ法則」ノ中ニ左ノ如ク説カレテ居ル。

「發明ト摸倣トハ元素のナル社會的行動デアアルコトハ、既に學ンダガ、然ラバ此ノ行動ガ依テ以テ爲サレ又只其ノ形式ニ外ナラヌ處ノ其ノ社會的實體或ハ力ハ何ンデアアルカ。換言スレバ、發明サレ或ハ摸倣サレルモノハ何ンデアアルカ。發明サレ或ハ摸倣サレルモノハ常ニ一ノ觀念或ハ一ノ意欲、一ノ判斷或ハ一ノ計畫ニシテ信及ビ欲ノ一定分量ガ發現スル處ノモノデアアル。而シ

(2) Essais et mélanges sociologiques. p. 239.

(1) Les lois sociales. p. 31.

(2) La logique sociale. p. 5. note I.

(3) Dauriac, La philosophie de G. Tarde. L'année Philosophique, t. XVI, p. 150.

參考

(4) Matagrin, La psychologie sociale de G. Tarde, p. 71. 參考

テ其ノ信及ビ欲ノ一定分量カ即チ國語ノ總テノ單語、宗教ノ總テノ祈禱、國家ノ一切ノ行政法規、法典ノ一切ノ箇條、道德ノ總テノ義務、工業ノ一切ノ仕事、藝術ノ總テノ方法等、總テノ社會的行動ノ精髓アルノデアル。信ト欲、是レ吾人ノ分析カ彼等ガ結合スル一切ノ感覺的諸形質ノ根底ニ於テ發見スル處ノ心理的實體及ヒ力、又心理的量デアル。而シテ發明次ニ模倣ガ彼等ヲ捕ヘテ之ヲ組織シ、之ヲ使役スルトキニハ、彼等ハ又眞實ナル社會的量デアル、社會ガ組織セラレ編制サレルハ、相互ニ助長シ、又ハ相互ニ拘束スル諸信ノ和合或ハ反對ニヨルノデアツテ、社會的制度ハ殊ニ此事ヲヨク示シテ居ル。而シテ社會ノ活動スルハ諸欲或ハ諸欲望ノ協力或ハ競争ニヨルノデアル。諸信、殊ニ宗教的信、及ヒ道德的信、併シ又法律的信、政治的信。言語的信スラモ、總テ信ハ社會ノ形成力ニシテ、諸欲或ハ諸欲望、經濟的或ハ藝術的欲望ハ社會ノ機能力デアル。(1)

たーるど先生ハ以上述ベシガ如キ意味ニテ、一切ノ社會現象ヲ信ト欲トニ還元シ、信ト欲トヲ以テヤハリ一切ノ社會現象ノ本質ト觀念セラルルノデアルガ、然ルニ信ト欲トハ本來量のノモノデアルカラ、一切ノ社會現象モ亦本來測定シ計算シ得ラルルモノトナル。併シ先生ハ如何ナル意味ニテ信ト欲トハ本來量のノモノデアルト考ヘラルルカト云フニ、今量ノ本質的性質ハ増減性ト正負性トデアル。サレバ總テ量のナルモノハ増減シ得ルモノ又正負ニ轉向シ得ルモノデナクレバナラスト同時ニ、總テ増減シ得ルモノ又正負ニ轉向シ得ルモノハ量のデアル。而シテ信及ビ慾ハ何レモ増減シ得ルモノデアリ、又正負ニ轉向シ得ルモノデアル。即チ信ニ於テハ承認、肯定ト云フ正ニ對シテ、否認否定ト云フ負ガアリ、又慾ニ於テハ求メル或ハ好クト云フ正ニ對シテ、斥ケル或ハ惡ミ嫌ラフト云フ負ガアル。此クテ信及ヒ慾ハ量ノ一切ノ本質性ヲ具フル眞實ナル心理的及ヒ社會的量デアルノデアル。而シテ心理的量トシテ信及ビ慾ハ不完全デハアルガ、精神物理學的方法ニテ測定シ得ラレ、社會的量トシテ信及ビ慾ハ矢張不完全デハアルガ、併シ一層ヨク統計

(1) Les lois de l'imitation, p.p. 157-159.

の方法ニテ測定シ得ラルルノデアル。尙ホ信及ヒ慾ノ量的性質ハ、之ヲ箇人心理的ニ考察スル場合ニ於テヨリハ、社會的ニ考察スル場合ニ於テ一層明ラカニ表ハレルノデアル。⁽¹⁾

以上述べシ如ク、社會現象ノ本質ハ信ト慾ニシテ、而シテ信ト慾ハ本來測定シ得ラルル量的ノモノデアルト見ルコトハ、たゞるゝ先生ノ社會學ニ於テ根本的ニ重要ナル意義ヲ有スル思想ニシテ、先生ハ社會學ガ實質的ニ科學トシテ成立シ得ル基礎ハ實ニ此處ニアルト考ヘタノデアル。蓋シ科學ハサキニ述べシ如ク、反復ヲ基礎トシテ成立スルモノデアルガ、然ルニ反復スルコトガ即チ數デアリ、量デアルカラ、結局科學ハ數ト測定ニヨリテ生クルモノトナルノデアル。サレバ社會現象ノ本質ニ於テ、信ト慾ノ如キ量的ノモノガ存在シナイ以上ハ、社會現象ハ科學ノ對象トナルコトガ出來ズ、社會學ハ成立シ得ナイノデアル。⁽²⁾

たゞるゝ先生ハ以上述べシ如クニ信慾ノ量的性質ヲ觀念シ、而シテ之ヲ以テ一切ノ社會現象ノ本質ト見ルコトニヨリテ、社會科學ノ本質ヲ決定シ、又其ノ獨立科學トシテノ成立ノ可能ヲ論證セント企ダテタノデアルガ、更ニ社會現象ヲ主トシテ信ヲ本質トスルモノ、例ヘバ言語、神話、宗教、哲學、科學等ノ如キモノト、主トシテ慾ヲ本質トスルモノ、例ヘバ道德、法律、習慣、政治、藝術、産業等ノ如キモノトノ二大部類ニ大別スルコトニヨリテ、一切ノ社會科學ヲ前者ノ形成及ビ轉化ヲ研究スルモノト、後者ノ形成及ビ轉化ヲ研究スルモノトノ二大部類或ハ二大方面ニ大別セントシテ居ル。而シテ前者ヲ總稱シテ社會論理學 la logique sociale ト云ヒ、後者ヲ總稱シテ社會目的學 la teleologie sociale ト云ハレテ居ル。要スルニ先生ハ信慾說ノ上カラ、社會科學ヲ

(1) Essais et mélanges sociologiques, p. p. 251-280.

(2) Études de psychologie sociale, p. p. 41-44.

根本的ニ社會論理學ト社會目的學トノ二大方面或ハ二大部類ニ區別シ、而シテ兩者ノ各ノ職分ト關係トヲ詳シク論述シテ以テ社會科學ノ真相ヲ究明セントシテ居ル。茲ニハ只其大要ヲ述ベテ、先生ハ、信慾說ノ上カラ如何ニ社會科學ノ根本的分類ヲ試ミラレタカヲ説明シテ置カウト思フ。

今信ノ方面ヲ考察スルモノトシテノ論理學ト、慾ノ方面ヲ考察スルモノトシテノ目的學トハ、其ノ箇人的ナルト社會的ナルトヲ問ハズ、其ノ本質ハ同一デアル。即チ此等ノ二科學ハ何レモ一定時ニ於ケル一箇人又ハ一國民中ニ存在スル信或ハ慾ノ一定總量ノ生産ニ就テハ、全ク之ヲ考究セズ、只其ノ一定總量ノ種々ナル判斷或ハ計畫ノ間ニ於ケル分配ヲ考究スルモノデアル。茲ニ一定時ニ於テ、無數ノ判斷及ヒ無數ノ計畫ノ間ニ散在スル一切ノ信及ビ一切ノ慾ヲ一纏ニシテ考察シ、而シテ一方ニ於テハ論理學、又他方ニ於テハ目的學ニ與ヘラレル職分ヲ考ヘテ見ルトスル。先ツ注意ス可キハ其等ノ判斷及ビ計畫ハ之ヲ一箇人ノ腦髓中ニ集メテ考フルコトモ出來レバ、又一國民ノ範圍内ニ集メテ考ヘルコトモ出來ルコトデアル。而シテ第一ノ場合ニ於テハ、其等ノ判斷及ヒ計畫ハ箇人的論理學及ビ箇人的目的學ノ對象トナリ、第二ノ場合ニ於テハ、社會的論理學及ビ社會的目的學ノ對象トナルノデアル。然ラバ論理學及ビ目的學ハ其ノ箇人的方面及ヒ社會的方面ニ於テ根本的ニ如何ナル職分ヲ有スルカ。今一箇人或ハ一國民ノ信ノ一定總量ガ種々ニ分配サレテ居ル諸般ノ判斷ノ集塊ニ對シテ、箇人的或ハ社會的ナル論理學ハ如何ナル職分ヲ盡クス可キカ。其等ノ判斷ノ中ニハ相互ニ他ヲ確カメルモノアレバ、相互ニ他ト矛盾スルモノガアリ、又相互ニ他ヲ確カメテバ、相互ニ他ト矛盾シナイモノモアル。而シテ其等ノ判斷ノ矛盾ヲ避ケ、彼等ノ和

合或ハ非矛盾ヲ求ムル爲メニハ、詳シク云ヘバ、其等ノ判斷ノ中ニ含マルル信ノ諸分量ヲシテ、減少又ハ損失セシムルコトナクシテ、總テ相加ヘシムル爲メニハ、其等ノ判斷ノ構成セラルル諸名辭ノ間ニ於ケル肯定的又ハ否定的信ノ分配及ビ其ノ種々ナル度合ノ分配ガ如何ナル變動ヲ受ケネバナラヌカヲ指示スルハ、即チ論理學ノ職分デアル。之レト同ジク、一箇人或ハ一國民ニ於テ一部分ハ相互ニ他ト矛盾シ、一部分ハ相互ニ他ト結合シ、又一部分ハ相互ニ無關係ニ並存スル諸種ノ傾向或ハ意慾ノ混沌狀態ニ對シテ、箇人的又ハ社會的ナル論理學ハ如何ナル職分ヲ盡クス可キカ。諸般ノ社會的慾ノ輻合ガ其ノ頂上ニ達シ、而シテ彼等ノ矛盾ガ其ノ最小限度ニ下ル爲メニハ、換言スレバ彼等ノ代數的總計ガ最大量ヲ與ヘル爲メニハ、其等ノ諸傾向及ヒ諸意慾ノ種々ナル目的物間ニ於テ、慾ガ符號ヲ變ジ、又強度ヲ變ンジテ、如何ニ分配サレル可キカヲ教ユルハ、即チ目的學ノ職分デアル。但シテ一るど先生ハ論理學及ビ目的學ノ職分ヲ此ノ如クニ觀念スルニ對シテ、信及ヒ慾ノ分量ノ生産ヲ研究スルモノハ、箇人ニ就テハ元素的心理學ノ職分、殊ニ知覺及ビ記憶論ノ職分ニシテ、社會ニ就テハ元素の社會學ノ職分、發明及ビ發見論并ニ摸倣論ノ職分デアルト見ルノデアル。⁽¹⁾サレバ先生ガ信慾説ノ上カラ立テラレタ社會科學ノ根本的分類ハ、詳シク云ヘハ社會科學ヲ元素の社會學ト社會論理學ト社會目的學トノ三方面或ハ三部類ニ大別スルコトニナルノデアル。

た一るど先生ハ信慾説ノ上カラ以上述べシ如クニ社會科學ノ根本的分類ヲ企テラレタガ、更ニ信慾説ノ上カラ社會進歩ノ眞義ヲモ説明セント企テテラレテ居ル。茲ニヤハリ其ノ大要ヲ述べ

(1) La logique sociale, p. p. 13-21.

テ置ク。

夫レ一切ノ進化ハ運動ノ相對的損失ニ伴ナフ物質ノ利得ニシテ、而シテ一切ノ退化ハ其ノ正反對デアルト見ルすべん。一ノ進化公式ノ根柢ニハ、一ノ深大ナル直感ガ含マレテ居ル。吾人若シ少シク其ノ思想ヲ變更シ、且ツ少シク非物質主義ナ言葉ニ之ヲ翻譯スルトキハ、該公式ハツマリ一切ノ生物の或ハ社會的發展ハ機能ノ相對的減少ニヨリテ補ハレタル或ハ寧ロ得ラレタル體制ノ増進ナルコトヲ意味スルノデアル。有機體ハ重サ及ビ大サニ於テ增長スルホド、又其ノ特殊の形態ヲ精細ニ發展スルホド、其ノ活力ヲ失ナフ。是レツマリソレダケ其ノ活力ヲ消耗スルカラデアル。同ジク社會ハ膨脹シ、増大シ、且ツ其ノ制度、言語、宗教、法律、政治、産業、藝術等ヲ完成シ、複雑ナラシムルホド、其ノ開明的及ビ進歩的元氣ヲ失ナフ。是レヤハリソレダケ其ノ元氣ヲ消耗スルカラデアル。換言スレバ、若シ社會の諸制度ノ本體ハ信任、信用、誠實、安心等ノ一定總量一言ニ云ハミ彼等ノ含有スル處ノ一致和合スル信ノ一定總量ヨリ成立シ、社會的進歩ノ原動力ハ好奇心及ビ大望心ノ一定總量、即チ合同的慾ノ一定總量ヨリ成立スルモノトスレバ、社會ハ進歩スルニツレテ慾ヨリモ一層多ク信ヲ増スノデアル。サレバ慾ノ眞實ナ最後ノ目的ハ信デアル。心情ノ發動スル唯一ノ目的ハ精神ノ大ナル確實、充分ナル安心ヲ得ルコトデアル。社會ハ進歩スルホド、吾人ハ其ノ中ニカノ圓熟セル精神ニ於テ見ルガ如ク、ヨリ多クノ堅實ト安靜、強キ確信ト枯死セル情熱トヲ發見スルノデアル。社會的平和、同シ理想或ハ同シ幻想ニ於ケル信ノ一致、即チ人類ノ愈々廣大ニシテ愈々深奥ナル同化ヲ前定スル一致協和、是レ吾人ノ欲スルト欲セザルト

ヲ問ハズ、一切ノ社會的革命ノ達着スル終局デアル。進歩詳シク云ヘバ、論理の途ニ於テ社會ノ進ミ行クト云フハ、即チ此ノ如キモノデアル。併シ進歩ハ如何ナル方法ヲ以テ行ハルルカ。夫レハ箇人ガ一定ノ問題ヲ解決センガ爲メニ思考スルト同ジ方法ヲ以テ行ハレルノデアル。要スルニ社會の進歩ハ相互ニ其發見ヲ交換スル無數ノ發明家、學者ノ腦髓ガ、摸倣ノ作用ニヨリ相連結スルコトニヨリテ可能トナル一種ノ集合的思考デアル。サレバ社會の進歩ハ箇人の進歩ト同ジク Substitution + Accumulation 取り代ヘト集結トノ二種ノ方法ニヨリテ行ハレルノデアル。或發見或ハ或發明ハ相共ニ集結シ得ルガ、他ノ發見或ハ發明ハ相互ニ他ヲ排斥シテ、一ガ立テバ他ハ倒レザルヲ得ナイ。此クテ論理の鬭爭 des combats logiques ト論理の和合 des unions logiques ガ行ハレル。而シテ一切ノ歴史の事件ハ兩者ノ何レカニ屬スル、即チ論理の鬭爭ガ又ハ論理の和合カデアル。但シ茲ニ論理のト云フハ廣義ノモノニシテ、其中ニ合目的^{アルゴリズム}のヲモ含ムノデアル。併シ集結シ得ル觀念ト觀念或ハ慾望ト慾望トガ相會合スレバトテ、其ノ集結シ得可キ性質ガ常ニ直グ觀破サレテ論理の和合ガ行ハレルノデハナク、又取り代ハラテバナラヌ觀念ト觀念或ハ慾望ト慾望トガ相會合スレバトテ其ノ相互の排斥性ガ常ニ直グ意識サレテ論理の鬭爭ガ行ハレルノデハナク。例ヘハ傳來ノ慾望ト矛盾スル新シキ慾望ガ起リ、又傳來ノ宗教的教義ト矛盾スル新シキ科學的觀念ガ現ハルル場合ニ於テ、其ノ矛盾ハ常ニ直ク感ゼラレルト云フノデハナク、又諸國民ニ於テ常ニ同時ニ感ゼラレルト云フノデハナク。更ニ夫レガ感ゼラレルニ當テモ、之ヲ解除セントスル慾望ハ常ニ同等ノ強サヲ有スルモノデナイ。其ノ強サ、其ノ性質ハ時代ニヨリテ、又國ニヨリテ異

ナル。ツマリ社會ニ於テモ、箇人ニ於テノ如ク、一ノ論理的欲求が存在スル。而シテ此欲求ハ總テノ他ノ欲求ト同ジク、之ヲ充足セシメタ發明或ハ發見ヨリ生レ、而シテ充足サレルコトニヨリテ益々強マルモノデアル。然ルニ摸倣サレナイ發明發見ハ社會的ニハ無意味ノモノデアルカラ、此欲求ガ發明發見ニヨリテ引キ起サレ又増進サレルト云フコトハ、ツマリ摸倣ニヨリテ引キ起サレ又増進サレルト云フコトニナル。要スルニ社會生活ニ於テ相互ニ衝突シ、又ハ合流スル信及ビ慾ノ總テノ流レ、即チ代數學ノ一種タル社會論理ノ加減スル分量ハ總テ摸倣ヨリ生スルノデアル。發明ノ要求其物モヤハリ摸倣ヨリ起ルモノニシテ、論理の統一ノ要求ヲ完成シ、其ノ一部分ヲナスモノデアル。是レ論理ハ極大量ノ問題デアルト同時ニ又均衡ノ問題デアルカラデアル。一國民ハ一定ノ時代ニ於テ發明シ發見スルコト多イホド、益々發明的トナリ、益々新シキ發見ヲ欲求スル、而シテ此ハ何レモ摸倣ノ盛カンニ行ハルコトヲ前定スル。然ルニ發見ハ確實ノ獲得ヲ意味シ、發明ハ信任及ビ安心ノ獲得ヲ意味スルモノデアルカラ、要スルニ發見シ、發明セントスル欲求ハ、社會的信ガ極大量ニ達セントスル傾向ノ實現スル二重ノ形態デアル。而シテ總合的及ビ同化的ナル精神ニ特有ナル此ノ創造ノ傾向ハ、他ノ多數ノ發明或ハ發見ト矛盾スル一定ノ發明或ハ發見ヲ除去スルコトニヨリテ信ノ均衡ニ達セントスル批評の傾向ト屢々交代シ、時ニハ並進スル、併シ總テノ場合ニ於テ常ニ合致スル。信ノ増大ノ傾向ト信ノ純化、均衡ノ傾向ハ相交代シテ發達スルコトニヨリテ一層充分ニ充足サレル、併シ一般ニ彼等ハ相伴ナフテ發達スル。是レ彼等ハ何レモ摸倣ヨリ生起シ、摸倣ヲ共同淵源トスルカラデアル。豐滿ナル信ノ欲求ト安定的ナル信ノ欲求トハ、社會生活ノ活潑ノ度合、即チ人ト人トノ關係ノ多數ナルコトニ比例スル強度ヲ有スルモ

ノデアル。國民ヲ啓發スル有益ナル觀念結合ハ先ヅ或ル孤立セル腦髓ニ於テ發現スルモノデアルガ、精神ト精神トノ知力の交換ガ盛ンナルホド、此ノ觀念結合ガ孤立的腦髓ニ於テ發現スル機會ハ増スノデアル。同一社會内ニ存在スル二箇ノ制度、二箇ノ主義ノ間ニ矛盾ガ感ゼラレ、此ノ矛盾ヲ除去セントスル欲求ガ其ノ社會内ニ發達スルニハ、此ノ矛盾ガ先ヅ一般ノ人々ヨリモ勝レテ鋭敏ナル頭腦ヲ有スル或箇人ニヨリテ強ク感ゼラレルコトガ必要デアル。カカル箇人ハ即チ組織的思想家ニシテ、彼ハ自己ノ觀念ヲ統一セント意識的ニ努力スルニ當テ、自カラ此ノ矛盾ヲ覺リ、此困難ニ突當リ、而シテ之ヲ世人ニ知ラセルノデアル。哲學者ノ社會的重要ハ此處ニ現ハレル。而シテ國民内ニ於ケル精神ノ相互的刺激、觀念ノ運動ガ盛ンナルホド、此困難ハ一般ニ容易ク觀破サレルノデアル。然ルニ之レニ反シテ箇人間ノ相互的刺激即チ摸倣ノ盛ンニ行ハレナイ社會或ハ時代ニ於テハ發明發見ノ欲求、創造ノ欲求ガ弱小ナレバ、又批評ノ欲求モ弱小デアル。カ、ル社會或ハ時代ニ於テハ相排斥シ相容ルルコトノ出來ナイ多數ノ觀念或ハ慾望ガ、其間ニ何等ノ矛盾ヲ感ゼラレズシテ混交シ、又相集結シ相和合シテ新シキ發明ヲ產出ス可キ多數ノ觀念或ハ慾望ガ相互ニ全ク無關係のニ散在シテ居ルノデアル。⁽¹⁾

要スルニ社會ノ論理的進歩ハ社會論理ノ欲求ヨリ生起シ、而シテ社會論理ノ欲求ハ上ニ述ベシ如クニシテ生起シ發達スルモノニシテ、又其ノ欲求ノ充足セラルル方法ハ、集結シ得ル發明及ヒ發見ノ集結ニヨリテ成就スル創造的ナル論理的和合ト、取り代ハル可キ發明及ビ發見ノ衝突ニヨリテ行ハル批判的ナル論理的闘爭トデアル。而シテ前者ハ極大量ニ達セントスル信ノ根本的傾向ヲ表現シ、後者ハ純化、均衡ニ達セントスル信ノ根本的傾向ヲ表現スルモノデアル。

(1) Les lois de l'imitation, p. p. 157-167.